



平成 24 年 11 月 13 日

各 位

会社名 久光製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 中富 博隆
(コード番号:4530 東京、名古屋、福岡)
問合せ先 広報室室長 金成 俊英
(TEL 03-5293-1732)

がん性疼痛治療剤 KW-2246 の 製造販売承認申請に関するお知らせ

久光製薬株式会社(本社:佐賀県鳥栖市、代表取締役社長:中富博隆 以下、久光製薬)は、協和発酵キリン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:花井陳雄 以下、協和発酵キリン)が平成 24 年 11 月 13 日にがん性疼痛に対する治療剤として開発中の KW-2246(フェンタニルクエン酸塩舌下錠)の製造販売承認申請を行なったとの報告を受けましたので、お知らせ致します。

本剤は、協和発酵キリンがオレクソ社(本社:スウェーデン・ウプサラ、CEO:アンデシユ・ルンドストレーム)から導入した、舌下投与によるフェンタニルの速やかな吸収と鎮痛効果を主薬効とする、がん性疼痛の持続的疼痛管理時に起こる急激な痛み(突出痛)に対する治療剤で、平成 22 年 2 月に久光製薬は協和発酵キリンより日本における共同販売権を取得しました。

協和発酵キリンは平成 22 年 2 月に本剤の製造販売承認申請を行ないましたが、申請資料に加えて新たなデータ集積が必要と判断し、申請を取り下げて追加試験を実施しておりました。この追加試験においても、本剤の有効性および安全性が確認されたことから、今般の製造販売承認申請を行ないました。

久光製薬は、平成 22 年 6 月に発売しました 1 日 1 回貼付の経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「フェントス®テープ」および本年 7 月に発売しました 3 日 1 回貼付の経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「フェンタニル 3 日用テープ「HMT」」に、突出痛に対する治療剤である本剤を加えることで、包括的な情報提供を通して、がん性疼痛に苦しむ患者様のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献してまいります。

以上